

2020年7月31日

大阪科学・大学記者クラブ 御中

(同時資料提供先：大阪市政記者クラブ)

大阪市立大学

医学部附属病院看護師の新型コロナウイルス感染について

大阪市立大学医学部附属病院の看護師が、2020年7月31日（金）に新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

【看護師に関する情報】

年代・性別 30歳代、女性

勤務地 大阪市立大学医学部附属病院（大阪市阿倍野区旭町 1-5-7）

【経過・症状】

7月24日（金） 夜勤明け

7月25日（土） 休日

7月26日（日） 休日、23時頃に38.3度の発熱あり。

7月27日（月） 休日、朝には解熱。少し咳の症状あり。

7月28日（火） 日勤、発熱がないため出勤。9時過ぎに悪寒があり帰宅指示。

その後勤務せず。（患者との接触なし）

感染制御部に報告し、7月29日まで自宅待機指示あり。

7月29日（水） 休日

7月30日（木） 夜勤、18時出勤。感冒の症状に似ている嗅覚・味覚異常があると報告あり、帰宅指示。その後勤務せず。（患者との接触なし）

7月31日（金） PCR検査陽性

【職場での濃厚接触者】

発症前48時間以内に接触した患者はいない。また濃厚接触者の定義に当てはまるスタッフもいないが、接点のあった同僚6名に対して念のため、PCR検査を実施予定。

【病院の対応】

当該病棟の消毒を実施。入院・外来診療等は通常通り行う予定です。

お問い合わせ先

大阪市立大学 医学部附属病院事務局 庶務課 TEL：06-6645-2710・2711